

第4次宮崎市病院事業経営計画の点検・評価
(令和4年度実績)

令和6年2月

1 はじめに

宮崎市では、国から示されたガイドラインに基づき、令和3年3月に「第4次宮崎市病院事業経営計画」を策定しました。

また、本計画の実施状況等については、概ね年1回以上の点検・評価を行い、有識者等で組織される会議等において評価の客観性を確保することとしております。

点検・評価の結果については、本市ホームページへの掲載等により公表します。

2 評価方法

目標に対する評価を以下の区分で行いました。

区 分	評価の内容
○	取組を評価する
△	分析事項を踏まえ概ね評価する
×	取組を評価しない

3 点検・評価

令和4年度の点検・評価は、「経営に係る数値目標」及び「医療機能に係る数値目標」について行いました。

次頁 第4次宮崎市病院事業経営計画点検・評価表【資料1】

計画名	第4次宮崎市病院事業経営計画	計画期間	R3年度	～	R7年度
-----	----------------	------	------	---	------

(1) 計画の概要

課題・背景	本市では、平成29年3月に既存事業やサービスについても従来どおり継続したうえで収支改善を図ることを目的とし、平成28年度から令和2年度までの5年間で計画期間とした第3次宮崎市病院事業経営計画を策定し、同計画に定めた目標等を達成するため、各種取り組みを進めてきた。 しかしながら、病院事業の附帯事業である介護老人保健施設事業を継続した場合、今後、より厳しい経営状況となることが見込まれるため、国の方針も踏まえ、病院事業を今後とも安定的に継続して運営するという原点に立ち返り、その実現に向けた経営改善の方向性を定め、地域で必要とされている医療を今後も確保していくことを目的として本計画を策定している。
基本方針	田野病院が果たすべき役割（救急医療、回復期医療、専門医療、在宅医療及び総合診療の提供）を担った上で、安定的かつ継続的な病院経営を目指す。

(2) 収支計画

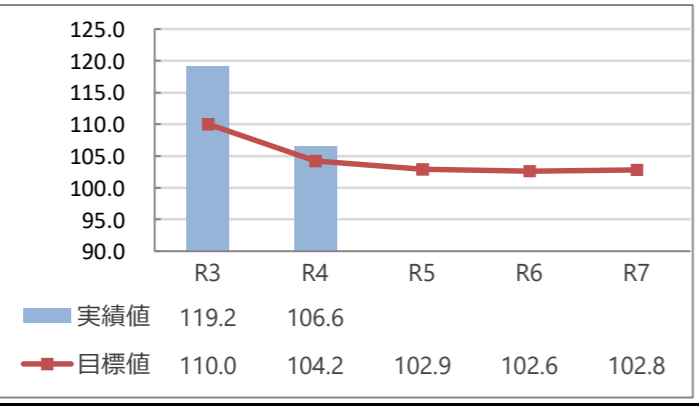
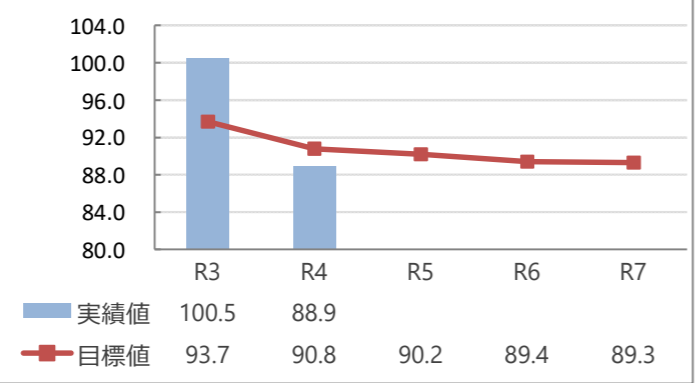
病院事業収益	計画値	実績値	病院事業費用	計画値	実績値
経常収益（A）	822	843	経常費用（B）	789	791
医業収益	678	674	医業費用	746	758
うち入院収益	438	424	医業外費用	43	33
うち外来収益	179	190			
医業外収益	144	169	経常収支（A－B）	33	52

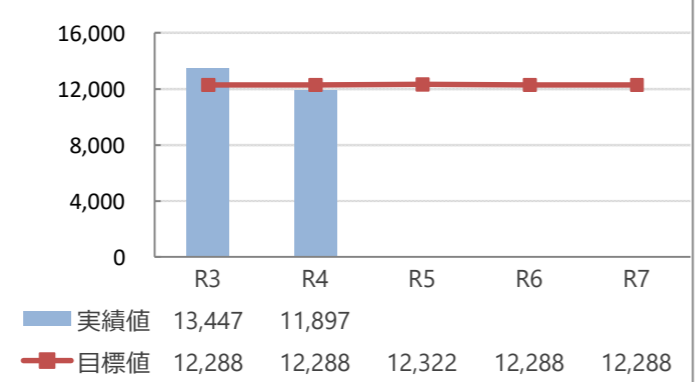
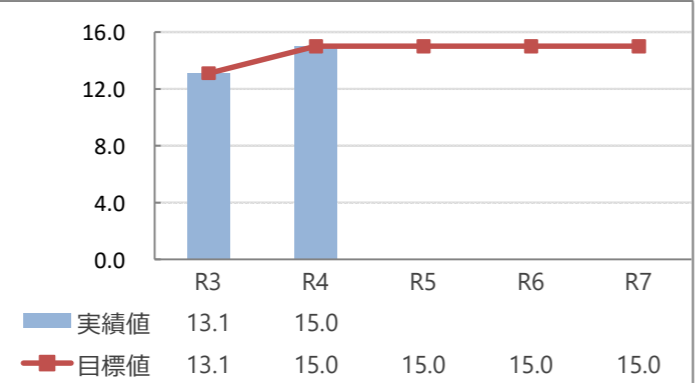
(3) 総括【結果と分析】

<p>■ 経営指標に係る数値目標について</p> <p>令和4年度における田野病院事業の経営成績は、新型コロナウイルス感染症の影響による入院収益を始めとする医業収益の減少などが見られたものの、5,210万5,718円の経常利益を計上した。</p> <p>また、安定的かつ継続的な病院経営を行うために設定した経営指標に係る数値目標については、全7項目のうち、経常収支比率、材料費比率の2項目において目標を達成、その他の5項目については未達成となった。この主な要因については、新型コロナウイルス感染症の診療体制への影響による新規入院受入の制限に伴う入院患者数及び入院収益の減少があげられ、医業収支比率や病床利用率にも影響があった。また年延外来患者数についても新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴うコロナ以外の患者の受診控え等により、目標未達成となった。</p>	<p>■ 医療機能に係る数値目標について</p> <p>本院の役割を果たすために設定した医療機能に係る数値目標については、全5項目のうち、在宅復帰率、リハビリ件数、在宅看取患者数、手術件数の4項目で目標を達成、在宅医療実患者数の項目のみ目標未達成となった。</p> <p>在宅医療の提供に係る項目となる在宅医療実患者数については、令和4年度において外来患者数が減少していることに伴い、田野病院において在宅医療を必要とする患者（在宅医療対象者）も減少していることが想定される。手術件数については、令和3年度に引き続き令和4年度も目標を達成しており、田野病院が掲げる専門医療の提供の役割を果たしている。</p>
--	---

経営指標に係る数値目標

評価凡例【○：取組を評価する △：分析事項を踏まえ概ね評価する ×：取組を評価しない】

項目	指標説明	自己評価	自己分析等	外部評価
1 経常収支比率	 <p>指標説明 経常収支比率は、医業費用及び医業外費用に対する医業収益及び医業外収益の割合を表し、通常の病院活動による収益状況を表す指標で、100%以上の場合は単年度黒字を、100%未満の場合は単年度赤字を表す。</p> <p>R4実績 令和4年度の目標値 104.2%に対し、実績は 106.6%となり、目標値を 2.4ポイント上回った。</p>	○	<p>令和3年度に引き続き、令和4年度においても目標を達成したものの、医業収益の減少（約5,000万円減）及び医業費用の増加（約3,700万円増）により、令和3年度より12.6ポイント減少する結果となった。</p> <p>【参考】経営の健全性の目安 100%以上：経常費用を経常収益で賄えている状態</p>	○
2 医業収支比率	 <p>指標説明 医業収支比率は、医業費用に対する医業収益の割合を表し、本来の医業活動による収益状況を表す指標で、100%以上の場合は医業活動自体で利益が発生していることを表す。</p> <p>R4実績 令和4年度の目標値 90.8%に対し、実績は 88.9%となり、目標値を 1.9ポイント下回った。</p>	△	<p>目標未達成となった理由については、主に入院収益の減少と指定管理料の増加によるもの。</p> <p>入院収益については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、医療提供体制の維持が難しく、入院患者数が減少したことによるもの。</p> <p>指定管理料の増加については、診療材料費や給食材料費の高騰、電気代等の光熱水費の高騰によるもの。</p>	△

3	年延入院患者数	人	 <p>実績値 13,447 11,897 目標値 12,288 12,288 12,322 12,288 12,288</p>	<p>指標説明 年延入院患者数は、病院の利用状況を把握するための指標で、当日未入院患者数（24時現在入院している患者数）に当日の退院患者数を加えた延べ人数で表す。</p>	自己評価	自己分析等	外部評価																																
			<p>R 4 実績 令和4年度の目標値 12,288人に対し、実績は 11,897人となり、目標値を 391人下回った。</p>	△	<p>【参考】急性期病院等からの転院患者数（年延入院患者数換算） R3：4,350人 R4：3,816人（△534人）</p>	△																																	
			<p>指標説明 病床利用率は、病院の病床数に対して、どの程度の利用が行われたかを示す指標で、本指標の値が高いほど病床機能が有効に活用されていることとなり、収益増加に寄与することになる。</p>	<p>R 4 実績 令和4年度の目標値 80.2%に対し、実績は 77.6%となり、目標値を 2.6ポイント下回った。</p> <p>【参考】R4年度病床利用率 11,897人/15,330床(42床×365日)</p>	△	<p>目標未達成となった理由については、年延入院患者数の分析と同様の要因である。 実際に、新規入院の受入を制限した月については病床利用率が減少している。</p> <p>【参考】病床利用率 受入制限の影響があった月：72.3% 受入制限の影響がなかった月：81.1%</p>	△																																
			<p>指標説明 新入院患者数は、新規に入院した患者（再入院患者を含む）数を示す数値で、入院関連の指標となる。一般的に回復期医療を提供している病院は、急性期医療を提供している病院に比べ平均在院日数が長くなるため当該数値は低くなる。</p>	<p>R 4 実績 令和4年度の目標値 650人に対し、実績は 427人となり、目標値を 223人下回った。</p>	△	<p>目標未達成となった理由については、年延入院患者数の分析と同様の要因である。 なお、他の病院から転院してきた患者数についても減少している。</p> <p>【参考】急性期病院等からの転院患者数 R3：129人 R4：107人（△22人）</p>	△																																
			<p>指標説明 年延外来患者数は、新来、再来、往診及び訪問診療患者の合計数で、病院の利用状況を把握するための指標となる。</p>	<p>R 4 実績 令和4年度の目標値 24,144人に対し、実績は 23,441人となり、目標値を 703人下回った。</p>	△	<p>令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う訪問診療の減少や、感染拡大時期の受診控え等の影響による外来患者数の減少により、目標未達成となった。一方で、新型コロナウイルス感染症を疑う患者のPCR検査数の増加により、外来収益は計画値を上回った。</p> <table border="1" data-bbox="1973 1396 2597 1585"> <thead> <tr> <th>年延外来患者数</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>院内外来</td> <td>23,119</td> <td>22,916</td> <td>23,384</td> <td>23,031</td> </tr> <tr> <td>訪問診療</td> <td>647</td> <td>483</td> <td>461</td> <td>375</td> </tr> <tr> <td> 自宅</td> <td>127</td> <td>115</td> <td>166</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td> 施設</td> <td>520</td> <td>368</td> <td>295</td> <td>270</td> </tr> <tr> <td>往診</td> <td>53</td> <td>31</td> <td>25</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>23,819</td> <td>23,430</td> <td>23,870</td> <td>23,441</td> </tr> </tbody> </table>	年延外来患者数	R1	R2	R3	R4	院内外来	23,119	22,916	23,384	23,031	訪問診療	647	483	461	375	自宅	127	115	166	105	施設	520	368	295	270	往診	53	31	25	35	計	23,819	23,430
年延外来患者数	R1	R2	R3	R4																																			
院内外来	23,119	22,916	23,384	23,031																																			
訪問診療	647	483	461	375																																			
自宅	127	115	166	105																																			
施設	520	368	295	270																																			
往診	53	31	25	35																																			
計	23,819	23,430	23,870	23,441																																			
7	材料費比率	%	 <p>実績値 13.1 15.0 目標値 13.1 15.0 15.0 15.0 15.0</p>	<p>指標説明 材料費比率は、医療収益の中で材料費が占める割合を示す指標で、薬品費等を含む材料費は医療費用の中でも高い割合を占める費用であるため、類似病院平均より上回っている場合には、その原因について分析し、改善へ向けた検討をする必要がある。</p>	○	<p>令和4年度は令和3年度に引き続き目標を達成したものの、薬品費や検査材料費、給食材料費が高騰や、医療収益の減少により、材料費比率は1.9ポイント上昇した。</p>	○																																

※低い方が良い。
※病院事業のみ

			指標説明	自己評価	自己分析等	外部評価													
8	在宅復帰率	%	<table border="1"> <tr> <td>実績値</td> <td>75.6</td> <td>81.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>80.0</td> <td>80.0</td> <td>80.0</td> <td>80.0</td> <td>80.0</td> </tr> </table>	実績値	75.6	81.5				目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	<p>退院患者数（自宅又は施設への退院）/新入院患者数×100</p> <p>在宅復帰率は、入院患者の退院先が自宅等であった割合を示す指標で、田野病院は入院治療後、病状が安定した患者に対し、リハビリ等を提供する地域包括ケア病床（在宅復帰支援のための病床）を有している。</p> <p>令和4年度の目標値 80.0%に対し、実績は 81.5%（地域包括ケア病床のみ）となり、目標値を 1.5ポイント上回った。</p>	○	<p>令和4年度においては、地域の介護施設等との連携が強化されたことにより、目標値を達成した。また、令和3年度に引き続き、地域包括ケア病床の施設基準を上回った。</p> <p>【参考】地域包括ケア病床の施設基準 R3年度：70.0%以上 R4年度：72.5%以上</p>	○
実績値	75.6	81.5																	
目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0														
9	リハビリ件数	件	<table border="1"> <tr> <td>実績値</td> <td>10,921</td> <td>10,587</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>9,000</td> <td>9,000</td> <td>9,000</td> <td>9,000</td> <td>9,000</td> </tr> </table>	実績値	10,921	10,587				目標値	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	<p>リハビリ件数は、入院リハビリテーション及び外来リハビリテーションの合計件数で、田野病院は第4次宮崎市病院事業経営計画において、果たすべき役割とし、回復期医療の提供等を掲げている。</p> <p>令和4年度の目標値 9,000件に対し、実績は 10,587件となり、目標値を 1,587件上回った。</p>	○	<p>令和3年度に引き続き、患者がリハビリを断念することなく継続的かつ精力的に取り組めるよう積極的にコミュニケーションを図り、各患者に応じた無理のないリハビリ計画を作成したことにより、目標値を達成した。</p>	○
実績値	10,921	10,587																	
目標値	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000														
10	在宅医療実患者数	人	<table border="1"> <tr> <td>実績値</td> <td>62</td> <td>50</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>60</td> <td>70</td> <td>70</td> <td>70</td> <td>70</td> </tr> </table>	実績値	62	50				目標値	60	70	70	70	70	<p>在宅医療実患者数は、在宅療養支援を行う実患者数で、田野病院は在宅療養支援病院であるため、第4次宮崎市病院事業経営計画において、果たすべき役割とし、在宅医療の提供を掲げている。</p> <p>令和4年度の目標値 70人に対し、実績は 50人となり、目標値を 20人下回った。</p>	△	<p>目標未達成となった理由については、在宅医療を必要とする外来患者が少なく、契約数が減少したことによる。</p> <p>【参考】在宅医療の患者について 在宅医療については、外来患者のうち医師が在宅医療を必要と判断した際に、声かけを行い、契約につながっている。</p>	△
実績値	62	50																	
目標値	60	70	70	70	70														
11	在宅看取患者数	人	<table border="1"> <tr> <td>実績値</td> <td>7</td> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </table>	実績値	7	8				目標値	4	4	4	4	4	<p>在宅看取患者数は、患者が住み慣れた自宅で自然に死を迎えられるよう支援を行う実患者数で、田野病院は在宅療養支援病院であるため、第4次宮崎市病院事業経営計画において、果たすべき役割とし、在宅医療の提供を掲げている。</p> <p>令和4年度の目標値 4人に対し、実績は 8人となり、目標値を 4人上回った。</p>	○	<p>目標達成となった理由については、令和3年度と同様に、患者だけでなく、患者の家族との対話を重ねることで、患者が安心できる終末期の医療体制を確保できたことによる。</p> <p>【参考】在宅療養支援病院の要件 R4年度：4名以上</p>	○
実績値	7	8																	
目標値	4	4	4	4	4														
12	手術件数	件	<table border="1"> <tr> <td>実績値</td> <td>57</td> <td>53</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> </table>	実績値	57	53				目標値	50	50	50	50	50	<p>手術件数は、田野病院において1年間に行った手術件数で、高齢者に多い大腿骨や股関節骨折等の専門的な手術を行うなど、専門医療の提供を果たすべき役割として掲げている。</p> <p>令和4年度の目標値 50件に対し、実績は 53件となり、目標値を 3件上回った。</p>	○	<p>令和3年度に引き続き、宮崎大学医学部附属病院との連携により安定的に麻酔科医を確保し、手術を実施できたことにより、目標を達成した。</p> <p>【参考】主な手術内容 ・人工股関節置換術 ・人工膝関節置換術</p>	○
実績値	57	53																	
目標値	50	50	50	50	50														

4 第4次宮崎市病院事業経営計画検証会議体委員からの主なご意見

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大は一定の落ち着きが見られるが、燃料費や医療資材の高騰は今後も続くことが予想されることから、引き続き医業収支の改善に努めていただきたい。
- ・コロナ拡大により入院体制にも御苦労されたことと察します。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大は一定の落ち着きが見られることから、令和3年度並みの入院患者数、病床利用率を期待したい。
- ・田野地域集合タクシー「たのシー号」の有効利用を図る。
- ・医師、看護師の方々の感染もやむを得なかったと思います。本当に大変でしたね。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大は一定の落ち着きが見られることから、外来患者数の増加を期待したい。
- ・感染拡大による受診控え等、大変だった事でしょう。
- ・材料費の高騰など大変ですね。
- ・在宅復帰支援というものの、本当に大変な努力が必要となるのでしょうか。
- ・患者の方々が断念することなくリハビリを頑張っている事は素晴らしいと思います。
- ・人口は減少しますが、高齢化率は変化しないと思います。よろしくお願いします。
- ・在宅医療の必要な患者数は、病院自体の取組により増加するものではないと思量されるが、引き続き医師の声かけ等による患者数増加に期待したい。
- ・在宅医療への声かけもむずかしいものがあるのでしょうかね。
- ・在宅看取りが増えている事に大変うれしく思います。
- ・田野病院において手術件数が増える事に安心いたします。